

IAQG/APAQG活動説明

一般社団法人 日本航空宇宙工業会
航空宇宙品質センター
(JAQG)

平成29年2月1日 東京会場 (イイノホール Room A1+A2+A3)
平成29年2月3日 名古屋会場 (ミッドランドホール)

JAQAGの参画

- 品質関連の国際会議
(IAQG会議:年2回、APAQG会議:年2回、
IAQGワーキンググループ会議:適時 等)に
積極的に参加
- 日本の航空宇宙産業界の意見を国際品質規格や
国際航空宇宙認証制度のルールなどに反映

International Aerospace Quality Group (国際航空宇宙品質グループ)



(1) 国際航空宇宙品質グループ(IAQG)

世界の航空宇宙メーカーが互いの信頼に基づいて強力な協力体制を構築・維持することにより、価値創造の流れの全段階において品質の著しい改善とコストの削減を実現する活動を推進するために1998年に設立。

International Aerospace Quality Group (IAQG)



IAQG設立の経緯



- 航空宇宙産業では、米国防総省のMIL規格が長い間使われていたが、1994年から始まった米軍の調達改革によりMIL規格体系の見直しが行われた。その結果、1990年代中頃より米国、ヨーロッパに於いてそれぞれの航空宇宙業界独自で品質グループを結成し、共通品質システム規格を発行して品質規格の標準化を推進
AAQG (Americas Aerospace Quality Group) : AS9000等
EAQG (European Aerospace Quality Group) : EN9000等
- 欧米の動きにより、全世界的な航空宇宙版の品質システム規格制定の気運が高まり、ISO TC20/WG11で検討開始された。(1997年頃)
- その後、約2年を費やし、航空宇宙版ISO9001である現在のAS9100 / EN9100 / JIS Q 9100 が1998年に制定された。
- ロールスロイス、GEなどエンジンメーカーが、制定された品質システム規格の展開と具体的実施要領の標準化を業界主導で推進することを全世界の主要航空機メーカーに呼びかけた結果、ボーイングやエアバスも次々と参加を表明し、IAQG(International Aerospace Quality Group)が1998年12月に組織された。
- 日本ではIHIが窓口となり、SJAC内で検討の結果参加を表明し、現在のJAQG(航空宇宙品質センター)設立に至る。(2001年4月 79社でスタート)

- 以下により価値創造の流れの全段階を通して全ての製品とサービスについて**品質、納期**の著しい改善と**コスト**削減を達成する
 - － 効果的な予防志向の**プラクティス**並びに**プロセス**の確立
 - － **要求**の規格化、**プロセス・ガイドライン**の提供、**ベスト・プラクティス**の適用拡大
 - － 価値創造の可能な限り早い段階で**品質の文化**を導入して**低品質に起因するコスト**(仕損じ費など)を削減する
 - － **世界中の航空、宇宙、防衛企業と能動的に協働する体制**を作り上げ、維持する

IAQGの目的及び目標

目的:

世界の航空宇宙会社が、互いの信頼に基づいて強力な協力体制を構築・維持することにより、価値創造の流れの全段階において品質の著しい改善とコスト削減を実現するイニシアティブを推進する。

目標:

製品ライフサイクルを通じて契約納期に契約品質の製品を納入
要員、プロセスおよびツールにより継続的に改善する(OTOQD)



IAQGメンバー会社一覧

※2016年10月時点



Japanese Aerospace Quality Group

Europe・・・35団体

(+ 地区代表業界団体)

◇投票メンバー数・・・10

- Advanced Electronics Company (サウジアラビア)
- AgustaWestland (伊)
- ◇Airbus (仏)
- Alenia Armacchi (伊)
- Avio aero (伊)
- ◇BAE Systems (英)
- Dassault Aviation (仏)
- Elbit Systems (イスラエル)
- FACC (オーストリア)
- Fokker Aerospace (蘭)
- GKN Aerospace Engine Systems (スウェーデン)
- HEGAN (ITP) (西)
- IAI (イスラエル)
- ◇Leonardo Company(伊)
- MBDA (欧州各所)
- ◇Meggitt (英)
- Messier Bugatti Dowty (仏)
- Motor Sich (ウクライナ)
- MTU (独)
- PFW (独)

Asia-Pacific・・・13団体

(+ 地区代表業界団体)

◇投票メンバー数・・・7

- AIDC (台湾)
- ◇AVIC (中国)
- ◇COMAC (中国)
- DSO(シンガポール)
- EGAT(台湾)
- Indonesian Aerospace (インドネシア)
- KAI (韓国)
- ◇KAL - ASD (韓国)
- ◇IHI (日本)
- ◇川崎重工業 (日本)
- 新明和工業 (日本)
- ◇富士重工業 (日本)
- ◇三菱重工業 (日本)
- ☼SJAC (日本)

- RAFAEL (イスラエル)
- ◇Rolls-Royce (英)
- Russian Helicopters (露)
- ◇SAAB (スウェーデン)
- ◇SAFRAN (仏)
- SAGEM (仏)
- Selex ES(伊/英)
- SNECMA (仏)

- SONACA (ベルギー)
- Turkish Aerospace Industries (トルコ)
- ◇THALES (仏)
- Turbomeca (仏)
- ◇UAC (露)
- ◇Zodiac Aerospace (仏)
- ☼ASD (ベルギー)

Americas・・・19団体

(+ 地区代表業界団体)

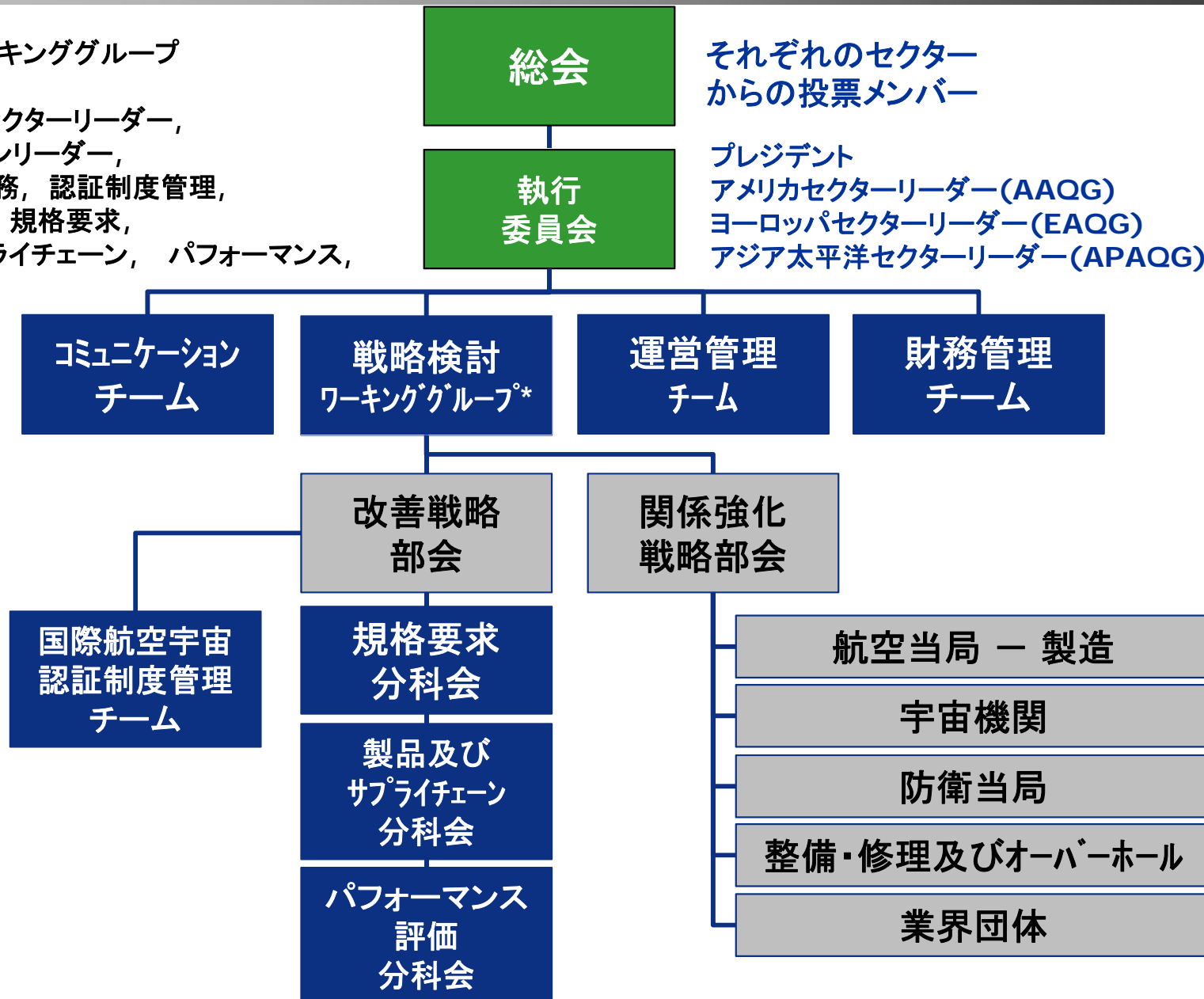
◇投票メンバー数・・・10

- Aerojet (米)
- ATK (米)
- Ball Aerospace (米)
- ◇Boeing (米)
- Bombardier Aerospace (カナダ)
- Embraer (ブラジル)
- ◇GE Aviation (米)
- General Dynamics-Gulfstream (米)
- ◇Honeywell (米)
- ◇Lockheed Martin (米)
- Moog (米)
- ◇Northrop Grumman (米)
- ◇Parker Aerospace (米)
- ◇Raytheon (米)
- ◇Rockwell Collins (米)
- Spirit AeroSystems (米)
- Textron - Cessna (米)
- ◇United Technologies Corp. (米)
- ◇Triumph Group (米)
- ☼SAE (米)

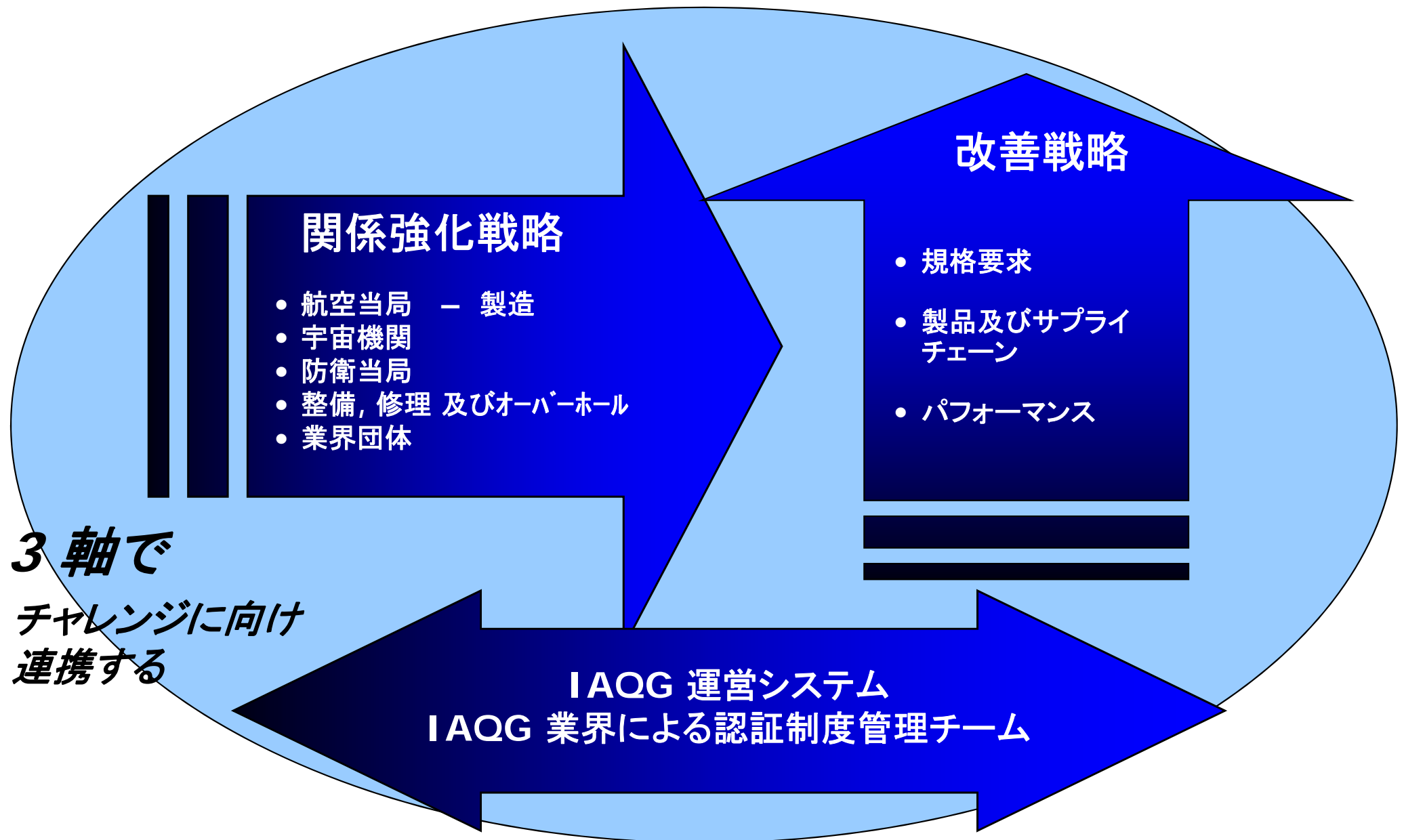
●:IAQGメンバー
◇:IAQG投票メンバー
☼:地区代表業界団体
セクターリーダー

IAQG組織

* 戦略検討ワーキンググループ
SWG リーダー,
プレジデント, セクターリーダー,
コミュニケーションリーダー,
運営管理, 財務, 認証制度管理,
関係強化戦略, 規格要求,
製品及び サプライチェーン, パフォーマンス,
事務局



IAQGの活動基本方針



I AQGで発行／維持される文書



製品及び
サプライ
チェーン

Supply Chain Management Handbook (SCMH)							
1 販売計画・ マスタースケジュール 及び順序付け	2 設計・開発	3 製造 (組立・試験を含む)	4 購買管理	5 納入	6 顧客サポート	7 計画・管理	8 契約上の要求事項 及び展開

ベスト
プラクティス

IAQG主要活動及び アウトプット



◆ 航空宇宙業界独自規格の制定, 第三者認証制度の構築・維持

➤ 9100シリーズ規格等の制定

⇒ 共通の品質要求適用により, 要求事項への対応及び顧客監査の効率化

➤ 国際認証基準の制定, 業界による監視制度

⇒ 全世界でハーモナイズされた共通の認証制度により,
世界共通の相互認証として確立

◆ IAQGメンバー会社及びサプライヤの改善・発展のための援助

➤ プロセス改善のためのガイダンス, ツール, ベストプラクティスの提供 (SCMH)

⇒ 9100及び関連規格の要求事項 (What) をどのようにすれば満足できるか
という視点 (How) を提供

◆ シングルボイス (協働認識) を推進するためステークホルダーとの協働作業

➤ 9100シリーズ認証制度に対する認知活動を継続

⇒ 国内では, 防衛省殿に続き, JAXA殿, 航空局 (JCAB) 殿に認知・採用
していただくよう活動推進中 (監督官庁による審査の効率化)

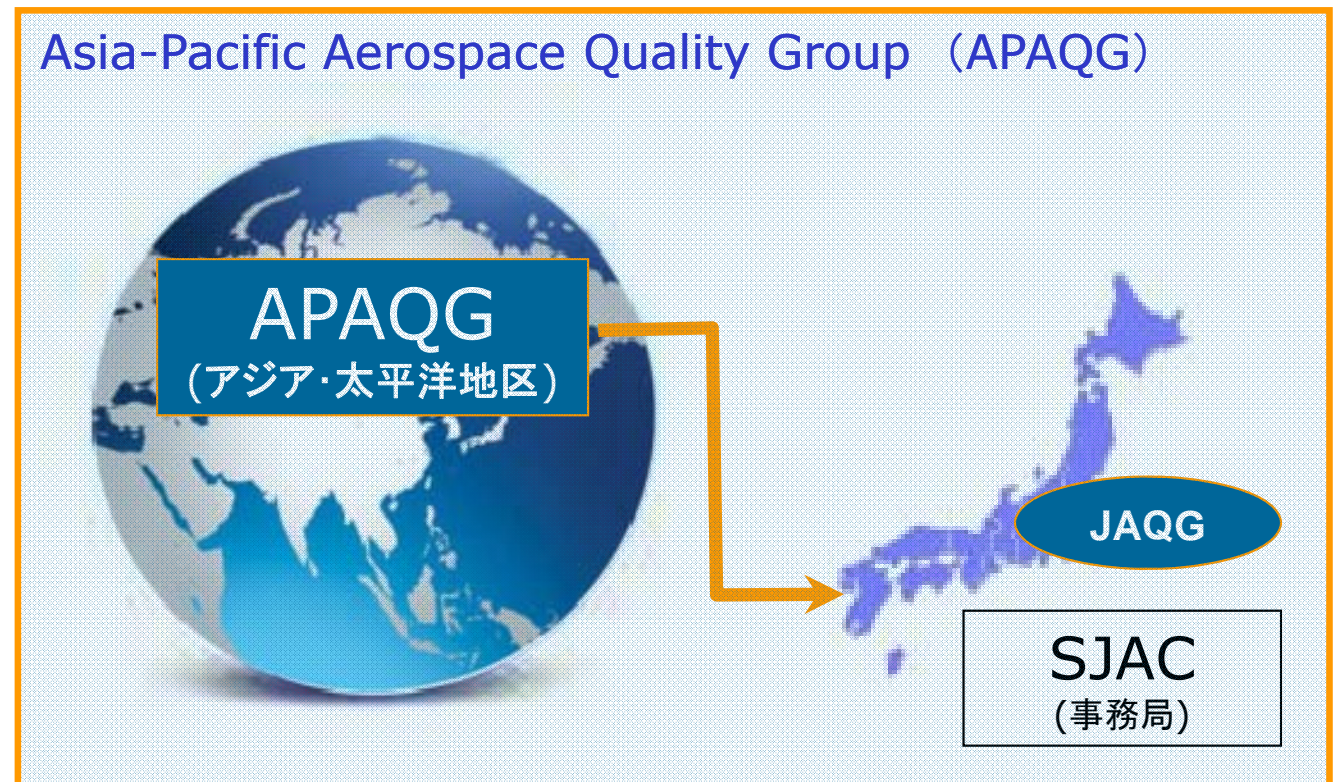
Asia Pacific Aerospace Quality Group (アジア太平洋航空宇宙品質グループ)



(2) アジア太平洋航空宇宙品質グループ(APAQG)

IAQGにおけるアジアパシフィック地域組織（アジア太平洋セクター）

IAQG会議に合わせて年2回の会議を開催し、近年のIAQG活動戦略目標に対応した、アジア太平洋セクター内の活動方針や各活動の役割分担等について協議中



目的:

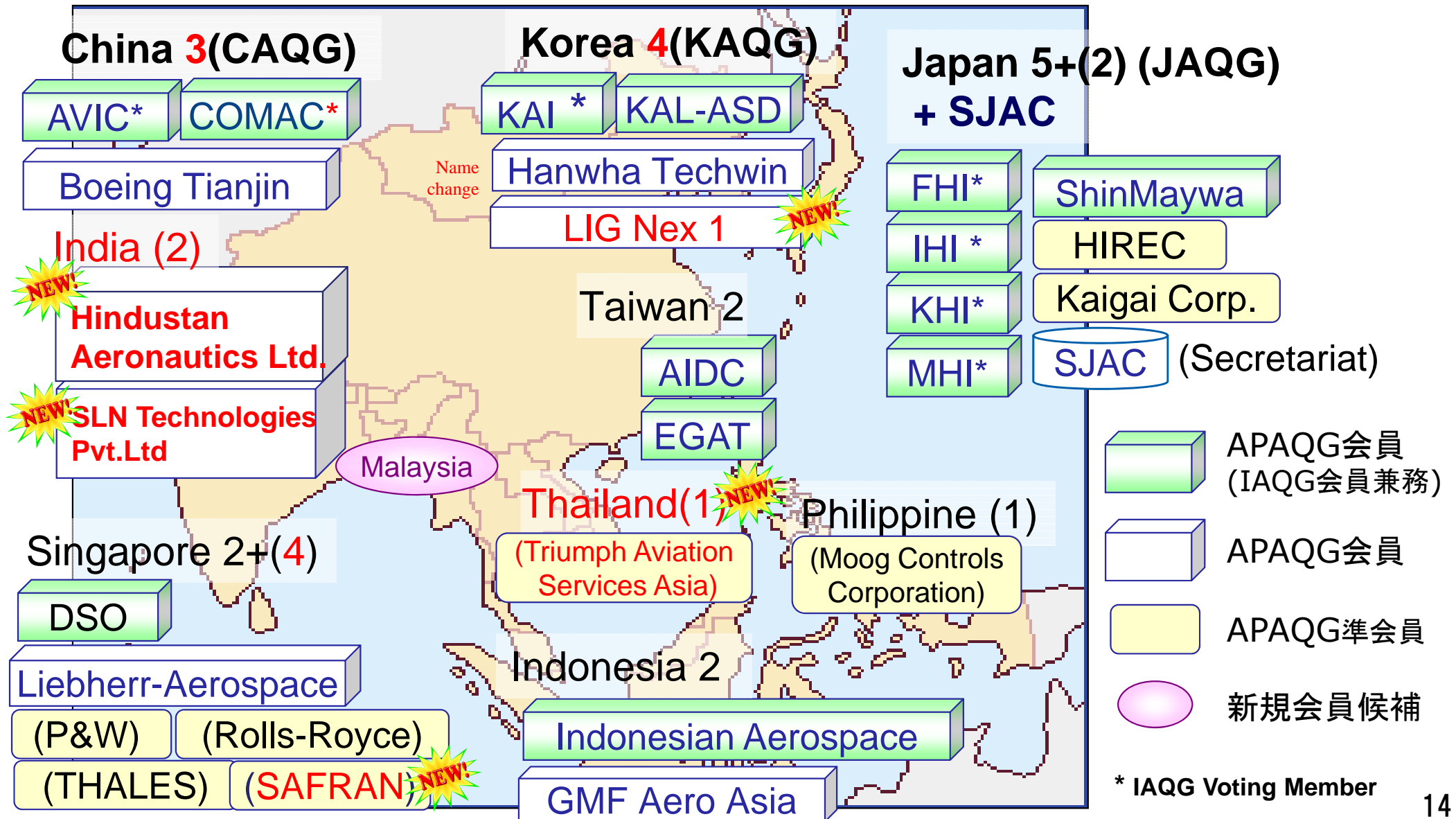
- アジア太平洋セクターの航空宇宙会社が、互いの信頼に基づいて強力な協力体制を構築・維持することにより、価値創造の流れの全段階において品質の著しい改善とコスト削減を実現するイニシアティブを推進する。
- アジア太平洋セクターの航空宇宙会社の間で各会社のベストプラクティスを共有する。

目標:

- セクターで共通の航空宇宙品質マネジメントシステム、航空宇宙産業でのベストプラクティス、パフォーマンス測定基準などの品質規格、要求、ツール及び技術の共通化を図る。
- 監査、検査、サプライヤーパフォーマンス評価結果等の共有方法確立する。

APAQG組織

APAQG会員： 28組織(13 IAQGメンバー) + 事務局



・ご清聴ありがとうございました